



## 夏休み中に調べましたか？

### ～第3回 進路希望調査に向けて～

9月に入るとすぐに「第3回進路希望調査」を実施します。その時になって悩んだり、迷ったりしないように、夏休み中に体験や説明会に参加して、得た情報をまとめておきましょう。

進路希望調査に記入する際には、一番行きたい学校を第1希望欄に書くこと！そして、「第1希望は自分自身にとって1番良い方法で受験する」これがセオリーです。

①公立前期選抜は、希望できるのは1校だけです。(第2希望もありません)また、学科によって定員の30%～100%まで様々です。自分の希望する学科が募集定員の何%なのかをよく確認する必要があります。(当然100%募集の学科は、受検機会は前期選抜のみ。それ以外は中期選抜で再チャレンジも可。)前回までの調査では、第1希望を複数書いて迷っている人が多かったですが、そろそろ目標を1校にしほっていかないと、勉強も中途半端になってしまい。

②公立前期選抜の受検方法。  
前期選抜には、大きく4通りの方法があります。  
1つの学科に複数の受検方法

③他の専門学科  
の専門学科およびスポーツ総合などです。  
・桃山の自然学科  
・嵯峨野のこすもす  
・エンタープライジン  
・堀川の探求学科  
・西京のエントラーライジン

定員の70%。  
前期から受検した方が有利となります。

②職業に関する  
専門学科

定員の30%。当然、中期選抜の方が募集定員が多いです。

①普通科  
私立学科  
どの募集%

が用意されている場合もあり、自分の希望する学科が、どの選抜方法を採用しているのを知っておく必要があります。

A1 学力検査+報告書 A2 学力検査+報告書+実績報告書

B 報告書+作文・面接 C 学力検査+報告書+実技検査+面接

※学科により、微妙にちがうパターンあり

③公立中期選抜は、3つまで希望校が書けます(希望がなければ1校でも可)

希望校は 第1志望の第1順位 → 第1志望の第2順位 → 第2志望 の3つまで記入できます。合否の判定方法がわかりにくいので、よく理解をしましょう。

〔第1ステップ〕 第1志望の第1順位で中期募集の定員の90%まで決定します。

〔第2ステップ①〕 その後、残りの10%を第1順位の残りの受検者と他校を第1順位で希望して(第1ステップで不合格)の第2順位で希望した受検者を合わせて判定します。当然、上位の受検者から合格となります。

〔第2ステップ②〕 第1・第2ステップ①後に、まだ定員が埋まらなければ、第2志望の者の中から定員が埋まるまで合格者を決めます。(過去2年はありませんでした)

④私立高校については前回、学科やコース名が書いてなかつたり、間違えているケースが多かったです。第1志望、併願希望を問わず、しっかり調べて記入をしてください。